動画制作の仕様書テンプレート

VIDWEB

見積もる人が同じ前提に立てるように、公開されている仕様書16本の読み比べをもとに項目を並べました

使い方: 記入欄を埋めて制作会社に渡します。決まっていない項目は、空欄にせず「要相談」「調整中」「AかBで迷っている」のように書いてください。提案を募るときは、撮影の日数・機材・人員のように提案で出してもらう項目は「提案を求める」と書けます。

業務の名前		例: 新製品A 紹介動画の制作業務
発注者（部署・担当者・連絡先）		例: 株式会社◯◯ 営業企画部 ◯◯
仕様書の段階	☐ 提案を募るとき　☐ 契約のとき	例: 提案を募るとき

項目（公開仕様書での記載本数）	記入欄	記入例（架空の製品紹介動画）
多くの仕様書にある項目 公開仕様書16本のうち14本以上		
目的 16本中16本 現状の課題と、見たあとにしてほしいこと		展示会で新製品Aの用途を知ってもらい、商談につなげる
尺 16本中16本		本編90秒程度
配信先・用途 16本中16本 将来使う可能性のある配信先も書く		展示会場のモニター、自社サイト。将来はWeb広告でも使う可能性あり
納品形式 16本中16本 解像度、縦横比、ファイル形式、媒体、編集データの要否		1920×1080、16:9、MP4。データで納品（DVDなどの物理媒体は不要）。編集データも納品
著作権の帰属 16本中15本		発注者に譲渡する（書き方は下の「著作権法 第27条・第28条」の欄）
納期と履行期間 16本中14本 契約の終わりの日と、動画を納める日は分ける		履行期間は契約日から◯月◯日まで。初稿◯月◯日、納品◯月◯日。使う日は展示会の初日◯月◯日
半数を超える仕様書にある項目 公開仕様書16本のうち9〜13本		
見てほしい相手 16本中13本 決まっていなければ「提案を求める」と書く		製造業の設備担当者。展示会の来場者と、商談中の担当者

項目（公開仕様書での記載本数）	記入欄	記入例（架空の製品紹介動画）
BGM・素材の権利処理 16本中13本 誰が処理し、費用は誰が持つか		BGMと素材は受託者が用意し、上の配信先と下の利用範囲で使える権利を処理する。費用は見積もりに含める。発注者が渡すロゴや写真の権利は発注者が確かめる
本数と版の違い 16本中12本 横型と縦型、長さ違い、言語違い、字幕の有無		本編1本と短縮版30秒1本（どちらも横型）。本編は日本語字幕あり・なしと英語テロップの3版
字幕・テロップと多言語 16本中12本 何語か。テロップだけか、ナレーションも差し替えるか。字幕は焼き込みか別ファイルか		日本語字幕あり（別ファイルでも納品）。英語はテロップのみで、ナレーションは日本語のみ
確認と修正の進め方 16本中12本 どの段階で確認するか		絵コンテ、初稿、最終確認の3段階で発注者が確認する
再委託 16本中12本 禁じる範囲と、認める条件		全部の一括再委託は不可。撮影と編集の一部は事前に書面で承諾を得れば可
二次利用と利用範囲 16本中11本 媒体、期間、地域、第三者の利用、改変の可否		上の配信先で、公開から3年、国内で使う。グループ会社も利用可。テロップの差し替えは発注者の判断で可
肖像権 16本中11本 出演者の許諾を誰が取るか		社員2名が出演。本人の許諾は発注者が取る。外部の出演者は起用しない
提案で求める内容 16本中9本 提案を募るときに書く		企画案、絵コンテまたはイメージ、撮影の日数・機材・人員、費目ごとの見積もり、体制、スケジュール
抜けやすい項目　公開仕様書16本のうち8本以下。ここを埋めると見積もりの前提がそろいやすくなります		
著作権法 第27条・第28条 16本中8本 著作権をすべて譲り受けるなら、契約書か契約に付ける仕様書に書く		本動画の一切の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）を発注者に譲渡する
修正・確認の回数 16本中7本 確認の機会（下限）と、金額に含む修正（上限）を分ける		内容確認と修正指示の機会を2回以上設ける。金額に含む修正は3回までとし、超える分は別途協議する。構成の変更と追加撮影は回数に含めず別途協議する
上限額 16本中6本 税込か税別か。何を含むか		上限200万円（消費税込み）。権利処理の費用を含む

項目（公開仕様書での記載本数）	記入欄	記入例（架空の製品紹介動画）
検収・納品前の確認 16本中6本 誰が、何を見て、何日以内に決めるか		納品から10日以内に発注者が試写で確認する。不合格の場合は補正のうえ再度確認する
納品後の不具合・修正 16本中6本 不具合と、内容を変える修正を分ける		受託者に原因がある不具合は受託者の負担で直す。納品後に内容を変える修正は別途見積もり
著作者人格権 16本中5本 著作者の側に不利益が生じるので、範囲を話し合う		受託者は発注者と発注者の指定する者に対し著作者人格権を行使しない。再委託先の著作者にも同じ扱いを求める
権利が移る時点 16本中5本 検収、支払い、引渡しなど		検収の合格をもって発注者に移転する
撮影の条件 16本中3本 場所の数や出演者の有無などの前提を書く。日数・機材・人員は発注者が決めて書くか、提案で出してもらう		本社工場と会議室の2か所。平日の日中のみ撮影可。社員2名が出演（手配は発注者）。撮影の日数・機材・人員は提案で示す
生成AIの扱い 16本中2本 使ってよいか、どの工程か、権利の確認は誰がするか		使う場合は工程と権利の確認方法を事前に報告し、発注者の了承を得る
発注者の回答期限 16本中1本 校正の依頼から何日以内に返すか		校正の依頼から3営業日以内に回答する

本数は、2026年11月に株式会社VIDWEBが読み比べた公開仕様書16本のうち、仕様書の本文に記載があったものの数です（撮影の条件は日数や箇所の数字を書いたもの）。16本はいずれも公的機関・団体の発注で、ここに無い項目が募集要項や契約書に書かれている場合があります。記入例は架空の案件で、数字は説明のための例であり、推奨の値ではありません。このテンプレートは記事のために作成したもので、当社が実際の案件で使う書式とは別のものです。権利に関わる文言は、法務部門や弁護士にご確認ください。

株式会社VIDWEB　https://vidweb.co.jp/

VIDWEB